

会議等経過報告書

件名	令和4年度第1回大船渡市民文化会館運営審議会
日時	令和4年8月4日（木）午後1時30分～午後2時45分
場所	大船渡市民文化会館 会議室
出席者	大船渡市民文化会館運営審議会委員 11名 菊地研委員、吉川弘委員、久保田ユウ子委員、小林志子委員、堺恵委員、佐々木フミ子委員、佐々木康人委員、佐藤光男委員、千葉賀子委員、古内嘉典委員、矢作清英委員 事務局 新沼部長、熊谷館長、佐々木館長補佐、菅野総務係長、木村事業係長、谷川企画運営員
報告者	協働まちづくり部 市民文化会館 佐々木英紀

会議の概要

1 開会（進行：熊谷館長）

2 委員紹介（熊谷館長）

3 挨拶（新沼部長）

4 会長及び副会長選任

会長の互選方法を諮ったところ、事務局一任との発言があり、事務局案として矢作清英委員を提案し承認された。また、副会長には千葉賀子委員を提案し承認された。

会長あいさつ（矢作会長）

5 報告

(1) 報告第1号 令和3年度市民文化会館自主事業実施状況について

佐々木館長補佐が資料に沿って説明した。

質問・意見なし

(2) 報告第2号 令和3年度市民文化会館の主な貸館・自主事業実績について

佐々木館長補佐が資料に沿って説明した。

また、「年度別施設稼働状況」及び「年度別施設別利用者数」についても、併せて説明した。

質問・意見なし

6 協議

(1) 協議第1号 令和4年度市民文化会館自主事業について

木村係長が資料に沿って説明した。

質問・意見については、次のとおり。

(古内委員)

アウトリーチコンサートについて、令和3年度、4年度とも綾里小学校となっているが、何か意味があるのか。

(谷川企画運営員)

2月に全校に対して募集をしたが、綾里小学校のみ希望があったことから、1校での開催となった。

(千葉委員)

マルチdeサロンコンサートについて、何年か続けて同じ方々に出演いただいているが、何か理由があるのか。

(谷川企画運営員)

震災後、出演者自らチャリティコンサートを実施した実績があり、テーマ性を持たせ昨年度と同じテーマで発展させ、起承転結という形でコンサートを考えていて、出演者を選定している。

また、アウトリーチをできる人が案外少ないので、得意な方を選んでおり、昨年度と今年度の連続した形で実施する。

(千葉委員)

昨年、コンサートを聞かせていただき、大変良いコンサートではあったが、観客が少ないということで、チラシもポスターも立派に作ってあって、市民の方々は見ていると思うが、実際に見に来ていただく方が少なく、本当にびっくりした。

出演者が、震災後に私たちを勇気づけてくれたことは、ありがたいことではあるが、前に聴いたからとか、テーマを持たせてやっているとは言いが、市民はどのように受け止めているのか。もっと多くの方々に聴いていただくことを考えながら、もっと違った演奏家を探していくというのも、必要ではないか。コンタクトを取るには、来年もお願いしますというのも楽かもしれませんが、新たなつながりを求めていくことも大事ではないか。長い目でコンタクトをとることや、違う分野とか、もっと工夫があっても良いのではないかと思う。

(佐々木フミ子委員)

もうちょっとクラシックでも、皆さんに知られている人、馴染みのある人を呼べば、もっと見に来てくれる人が増えるのではないか。どんな人かは特定でき

ないが、もっと方法があるのではないかと思う。

(熊谷館長)

観客が少ないというのは、主催者側としても頭の痛いところである。チケットを購入していただいて見に来る方々は少なく、無料の公演では、すぐに整理券がなくなってしまうが、少額でも有料になれば観客が少なくなるというのが現状である。

2年前に夏川りみさんのコンサートを実施したが、当初は多数の来客があるのではないかと考えていたが、コロナ禍の影響により、約 350 人の観覧者にとどまった。有名だから多くの観客があるかと言えばそうではなくて、誰を呼ぶか、何をやるかは、事務局でもかなり検討してはいるが、結果に結びついていない。

(千葉委員)

2年に1回という形で、予算を大きく取って開催はできないものか。

(熊谷館長)

前年度の実績にも左右される面があり、実績がゼロだったものを大きく増額するのは難しいことから、毎年度予算措置するしかない。

10月にポップス系のグループのコンサートがあるが、チケット代が9,000円となっており、プロが企画しても、沿岸地域はチケットの売れ行きが悪いというような傾向があるようで、苦戦しているようである。

委員の方々からリクエストがあれば助かるのだが。

(佐々木フミ子委員)

この前、陸前高田市の一本松ホールに林部さとしさんが来たようで、すごい人気だった。無料の公演だった。あのような人を呼べないものか。

(熊谷館長)

林部さんは、カラオケ選手権等でチャンピオンになった方であると承知している。今度お呼びするジェイコブ・コーラーさんは、ピアノ王座決定戦でチャンピオンを取った方で、本業はジャズピアニストであるが、大船渡ではあまり知られてはいないかもしれないが、全国的にはかなり有名な方である。

(佐々木フミ子委員)

一本松ホールでは、いい感じの方々を呼んでいるようだが、どのようにしているのか。

(熊谷館長)

無料でやっているということは、スポンサーがあるということだと思うので、大船渡市内の企業でもスポンサーになってもらえる企業があれば、大歓迎である。

(佐々木フミ子委員)

被災地支援ということで、公演をやらせてほしいと要望されることが多いようである。

(熊谷館長)

大船渡市でも、震災後に被災地支援ということで、数多くあったが、陸前高田市もその延長線上にあると思われる。

(佐々木フミ子委員)

つながりがあれば、もっとそのつながりが広がるのではないかと。

(熊谷館長)

被災地支援で来ていただいた時は無料でも、現在では有料になると思われる。常時テレビに出ているような方をお呼びするとなると少なくとも 500 万円程度のギャラになると思われることから、1,100 席のリアスホールで、5,000 円のチケットを完売しなければ、ギャラも払えないという状況になる。

(千葉委員)

同じ方たちを連続呼ぶのではなく。もっと色々な方たちをお呼びするように工夫することも必要ではないか。開催する時間の工夫も必要ではないか。夜だったら見に行けるといふ人も多くいるようだ。企画する方は、大変だと思うが。

(熊谷館長)

色々な意見をいただき大変助かる。今年のメニューは、色々なものを取り入れており、結構良いのではないかと考えている。

7 その他

(1) 大ホール舞台音響設備更新の進捗状況について

佐々木館長補佐が資料に沿って説明した。

質問・意見は次のとおり。

(古内委員)

気仙地区の芸術文化協会連絡協議会では、3つの事業を持ち回りで実施しているが、令和5年度は、大船渡市芸術文化協会が合唱フェスティバルの事務局になるが、来年度は、大ホールは使用できるものなのか。7月の第1日曜日か第2日曜日が合唱フェスティバルの開催日になるのだが。

(熊谷館長)

大ホールだけを使用するのであれば可能だが、大ホールと楽屋やマルチスペース、展示ギャラリーを同時に使用するの難しい。

- (2) 第 68 回大船渡市民芸術祭の開催について
木村係長が資料に沿って説明した。

質問・意見なし

8 閉会（熊谷館長）